

事務事業評価シート

(H.30)No.	1163	(H.29)No.	1163
-----------	------	-----------	------

事務事業名	ふるさと能文化振興事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	宮前 浩幸	

会計区分	事業コード	502501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	ふるさと能文化振興事業	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 文化振興費	ふるさと能文化振興事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	3	市民文化の創造
	施策	1	文化振興
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
「能楽のふるさとづくり」を目指して、伝統文化の伝承・発展や市民の充実した文化活動ができるよう支援を行います。名張の特色ある文化を育みながら、積極的に発信していきます。

事業内容
総合計画でもうたわれている「能楽のふるさとづくり」の実践のため、「観阿弥創座の地」を情報発信するイベントの開催や、子ども狂言の会への支援・協力を行っています。平成30年3月には、名張子ども狂言の会の発表に加え、伝統芸能に取り組む市内の子どもたちが活躍する団体にも呼び掛け、アドバンスコープADSホールにおいて【名張子ども伝統芸能祭り】を開催することにより、1年間の成果を発表する機会を提供している。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分	
主な事業の実績・計画	名張能楽祭の実施及び子ども狂言の会支援		名張能楽祭の実施及び子ども狂言の会支援		
			H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
			報償費 4,583千円 ○名張能楽祭子ども狂言の会支援 1,833千円△300千円 ○名張市観阿弥顕彰会発足50周年記念並びに市制65周年記念事業として新能を復活 出演料1,750千円、舞台設営費1,000千円、照明音響委託費300千円	名張能楽祭の実施及び子ども狂言の会支援	名張能楽祭の実施及び子ども狂言の会支援

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		2,331千円		2,212千円	4,962千円	2,212千円	2,212千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他()		1,500					
一般財源	0	831	0	2,212	4,962	2,212	2,212
人工数		0.30人		0.20人	0.20人	0.20人	0.20人
職員							
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	2,220千円	0千円	1,480千円	1,480千円	1,480千円	1,480千円
①+②総事業費	0千円	4,551千円	0千円	3,692千円	6,442千円	3,692千円	3,692千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度(取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
能楽のふるさとづくりの取り組みとして、観阿弥祭、名張能楽祭を開催。名張子ども伝統芸能祭りについては、市民団体と共催実施し、「能楽のふるさと名張」の実践のため、子ども狂言の支援と関連するイベントを実施するなど、名張の特色ある文化を育む事業を展開しました。実施にあたっては、名張市観阿弥顕彰会並びに美旗まちづくり協議会と協働して、事業を推進しています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
引き続き子ども狂言の会への支援を行うとともに、また、民間助成を活用してイベントを開催します。名張能楽祭の開催など地域づくり組織と協働しながら「能楽のふるさとづくり」の取り組みを進めます。名張能楽祭の開催にあたっては、多くの市民に参画いただけるよう進め、より一層の情報発信に努めます。

6. 事務事業の取組に関する市の計画